

# 大阪市中央公会堂の内装に使用される大理石石材：赤坂石灰岩産「美濃霞」と秋吉石灰岩産「長州霞」の比較

中澤 努<sup>1</sup>・西本 昌司<sup>2</sup>・乾 睦子<sup>3</sup>・平賀 あまな<sup>4</sup>

大正7(1918)年竣工の大阪市中央公会堂には、内部の腰壁の装飾に、岐阜県大垣市のペルム紀赤坂石灰岩産「美濃霞」及び山口県美祢市の石炭-ペルム紀秋吉石灰岩産「長州霞」と同定される非変成の大理石石材が使用されている。建築当初は「美濃霞」が使用されたが、平成11～14(1999～2002)年の保存・再生工事の際に、既に入手困難な「美濃霞」の代替として「長州霞」が使用された(大阪市教育委員会, 2002)。両者はよく似るが、詳細な岩相や含まれる化石の違いにより区別することができる。



第1図 大正7年竣工の大阪市中央公会堂。構造は鉄骨煉瓦造三階建，地下一階。設計競技による岡田信一郎案をもとに，辰野金吾，片岡 安が実施設計を行った。ネオ・ルネサンス様式を基調としながらも躍動感を加味した意匠で，我が国の煉瓦造建築の到達点となった建築のひとつと評価され，国の重要文化財に指定されている。



第2図 左写真：東正面玄関奥のロビー。このロビーや階段脇の腰壁の装飾や床に大理石が使用されている。右写真：ロビーの腰壁に使用される石材。縦方向に配置される2列の灰白色石灰岩のうち，左は建築当初からのオリジナルと思われる赤坂石灰岩産の「美濃霞」，右が補修時に貼られたと思われる代替の秋吉石灰岩産「長州霞」。左側のオリジナルは1ピースであるが，補修されたと思われる右側は上下2ピースに分けて貼られている。右側は枠組みの白色大理石や角礫質石灰岩も更新されている。

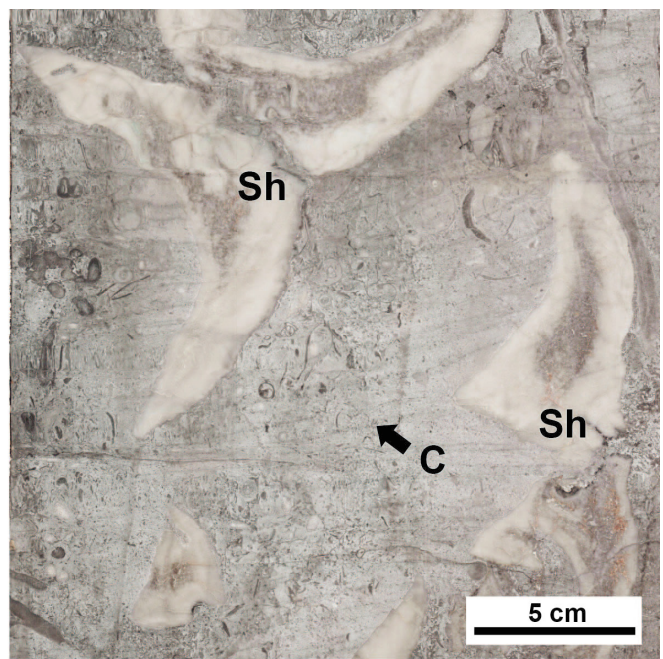
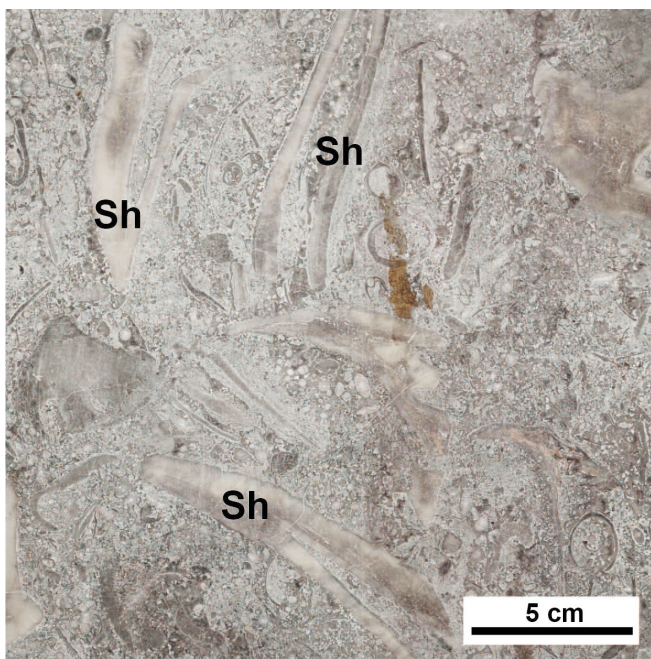
1 産総研 地質調査総合センター地質情報基盤センター

2 愛知大学 法学部 〒453-8777 愛知県名古屋市中村区平池町 4-60-6

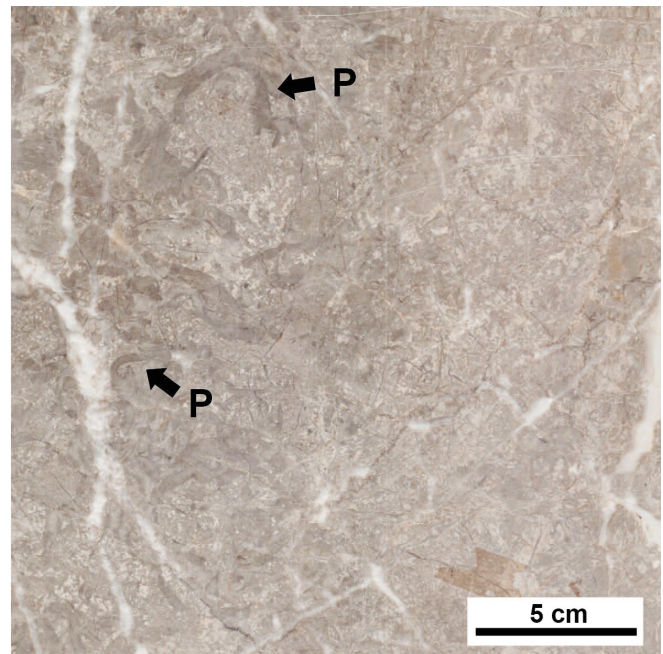
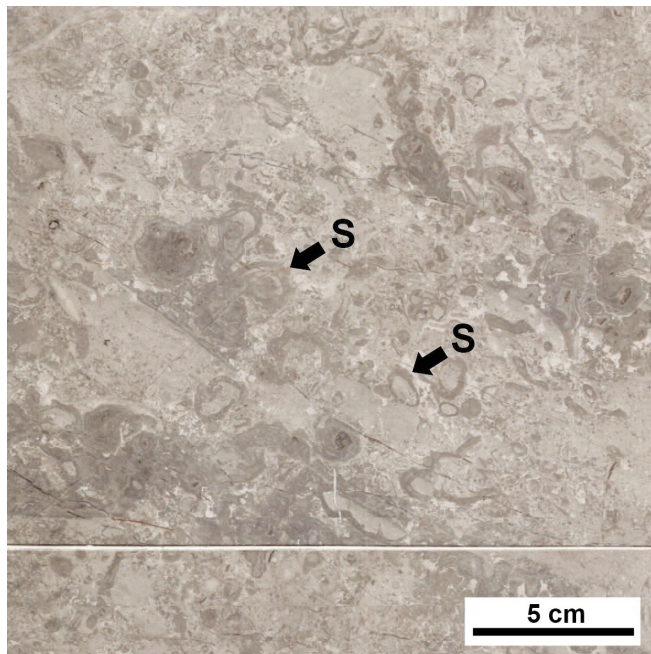
3 国士舘大学 理工学部 〒154-8515 東京都世田谷区世田谷 4-28-1

4 東京科学大学 環境・社会理工学院 〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1

NAKAZAWA Tsutomu, NISHIMOTO Shoji, INUI Mutsuko and HIRAGA Amana (2025) Limestone used as interior wall material in the Osaka City Central Public Hall: Comparison between "Mino-gasumi" from the Akasaka Limestone and "Choshu-gasumi" from the Akiyoshi Limestone.



第3図 赤坂石灰岩産石材「美濃霞」(大阪市中央公会堂内装)。化石を多く含む灰白色の碎屑性石灰岩で、美濃帯のペルム紀石灰岩を特徴付ける大型の二枚貝シカマイア (*Shikamaia*; 写真の Sh) のほか、多様な生物遺骸片を含む。石灰岩全体に平行な細かい縞状模様(クラック; 例えば右写真の C) がみられることがある。産地では鉱山の採掘が進んだため、「美濃霞」のほか、古くから知られる赤坂石灰岩の代表的な銘柄の石材は、いずれも現在入手困難となっている。



第4図 秋吉石灰岩産石材「長州霞」(大阪市中央公会堂内装)。「美濃霞」に比べて、若干温かみのあるクリーム色を帯びた色調の現地性礁石灰岩あるいは碎屑性石灰岩で、海綿類 (sphinctozoan sponges; 写真の S) や石灰藻パレオアプリシナ (*Palaeoaplysina*; 写真の P) の化石が認められる。「長州霞」の岩相は Nakazawa *et al.* (2015) や中澤ほか (2015) に詳細な報告があり、写真のものも同様の岩相と判断される。なお、石灰藻パレオアプリシナは赤坂石灰岩を含む美濃帯のペルム紀石灰岩からは今のところ知られていない。

本稿作成において、大阪市中央公会堂及び矢橋大理石株式会社より多大なご協力を頂きました。記して感謝申し上げます。

### 文 献

中澤 努・藤川将之・上野勝美 (2015) 山口県美祿市産大理石石材「霞」にみられる石炭-ペルム紀の造礁生物群. GSJ 地質ニュース, 4, 129-130.  
 Nakazawa, T., Igawa, T., Ueno, K. and Fujikawa, M. (2015) Middle Permian sponge-microencruster reefal facies in the mid-Panthalassan Akiyoshi atoll carbonates: observations on a limestone slab. *Facies*, 61, 15.  
 大阪市教育委員会 (2003) 重要文化財大阪市中央公会堂保存・再生工事報告書. 大阪市, 505p.

(受付: 2024年9月19日)